

「自分らしさ」を大切に している先輩を紹介します



これまで男性の分野とされていた仕事にチャレンジ

消防士 林 萌子さん

高校卒業後、迷わずこの道を選択。
小松市消防本部南消防署勤務(取材当時)。



この仕事を選んだ
きっかけは?

中学生の時に家の近所で火事があり、その際、消火活動や救助活動をしている消防隊の姿を見て、こんなにやりがいのある仕事はないと思い、消防士になろうと決めました。

この仕事の
やりがいは?

災害現場で被害を防げた時や、救急現場で病人を搬送した後に家族の方のほっとした顔を見ると、やっけてよかったと思います。

未来の社会人への
メッセージをお願いします

もし、やりたいことがあるなら、それに向かって一生懸命進んでいってほしいと思います。やりがいのある仕事とかけがえのない仲間が待っていると思うのががんばってください。

これまで女性の分野とされていた仕事にチャレンジ

看護師 遠田 大輔さん

県立看護大学卒業後、金沢大学附属病院での
勤務を経て、県立高松病院に勤務(取材当時)。



この仕事を選んだ
きっかけは?

祖母の病気をきっかけに、祖母に対して自分にできることは何かと考え、看護師になろうと志しました。

この仕事をして
つらかったことや、
嬉しかったことは?

患者さんに、「女性の看護師に代わってください」と言われ、この仕事に本当に男性が向いているのだろうかと感じたことがありました。それでも、入院されている患者さんに対して身体と心のケアを進めていく中で徐々に回復し、地域に戻っていく姿を見ると嬉しく、やりがいを感じるができます。

未来の社会人への
メッセージをお願いします

仕事を選ぶにあたって、性別は関係ないと思います。大切なのは、「自分が何をしたいか」ということだと思うので、自分の夢や目標に向かって向上心を持ち続けてがんばってください。

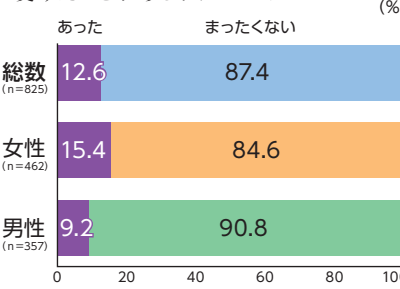
あなたは決して悪くありません ひとりで悩まないで相談を…

DV(デートDV)とは?

DV(ドメスティックバイオレンス)とは、相手を思い通りにする(支配する)ことを目的に、配偶者やパートナーなど親密な間柄の相手から振るわれるさまざまな暴力のことを言います。また、恋人同士間に起こる同じような暴力を「デートDV」と言います。

交際相手からの被害経験の有無

交際相手から、身体的暴行、心理的攻撃、経済的圧迫、性的強要のいずれか1つでも受けたことがあるかについて (%)



せっかく付き合えるようになったのに、なんだかつらい

彼(彼女)のことは好きだけど、なんだか時々怖い

別れたいのに、怖くて別れられない

彼氏(彼女)ができてから、友達と遊べなくなってさみしい



もし、あなたが、交際相手からの暴力に悩んでいたら、信頼できる人や専門の相談機関(女性相談支援センター)にちょっと勇気を出して相談してみてください。

また、あなたの身近な人が悩んでいたら、相談できる場所があることを教えてあげてください。

相談窓口(秘密厳守/相談無料)	電話番号	開設日時等
石川県女性相談支援センター(面接相談)	はれば #8008 または 076(223)8655	月~金 8:30~17:15 (祝日、年末年始を除く)
DVホットライン(女性のためのDV専門電話相談)	076(221)8740	月~金 9:00~21:00 土日祝 9:00~17:00

性暴力被害にあわれた方を支援するための相談窓口があります パープルサポートいしかわにご相談ください

パープルサポートいしかわでは、電話や面談、メールで相談をお受けするほか、カウンセリングや警察への付き添い、医療や法律相談など必要な支援を相談員がコーディネートします。ご家族、知人の方からのご相談もお受けします。

電話相談 (全国共通短縮番号) **#8891** または **076-223-8955**

相談受付/月曜~金曜8:30~17:15
※祝日・年末年始を除く
ただし、緊急医療などの緊急を要するご相談は24時間365日対応しています。

メール相談 ホームページ内の相談フォームから

パープルサポートいしかわ 検索



性暴力とは? 同意のない 対等でない 強要された 性的な行為は すべて性暴力です。

自分らしく
輝くために
「男だから」「女だから」に
とらわれない生き方

name

男・女 イメージだけで決めていませんか？



- 男性は仕事に専念すべき
- 女性は家事・育児に専念すべき
- 細やかな気配りができるのは女らしい
- いざという時に決断できるのは男らしい
- 子育ては、やはり母親でなくてはならない
- 力仕事は男、繊細な仕事は女

現役大学生の思いは？

私たちがそれぞれ「自分らしく」生き生きと暮らしていくには「男性」「女性」という性別だけで固定的に役割を決めるのではなく、互いに個性と能力を認め合い、多様な生き方を受け入れることが大切です。

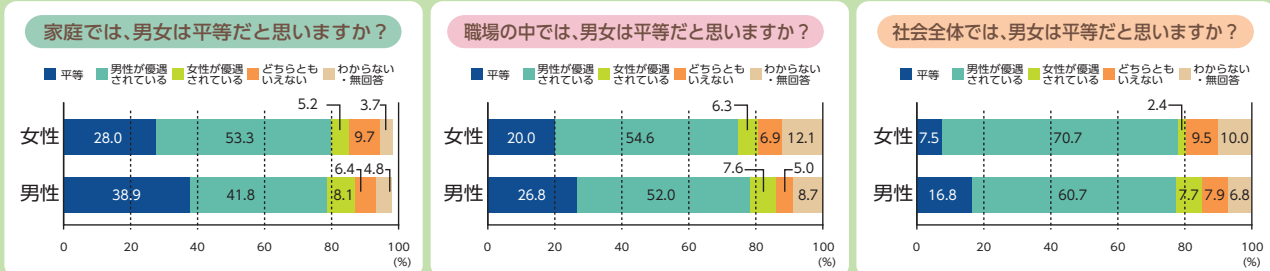
そこで石川県では、県内の大学生を対象に、自分が思い描く理想の生き方について考えるワークショップを開催し、多様な生き方を認め合う男女共同参画についてみんなで話し合いました。



ワークショップにおいて、学生の間で活発な意見交換がありましたので、その意見の一部を紹介します。

あなたはどのように考えますか？

資料：令和2年度石川県男女共同参画に関する県民意識調査



「家庭」「職場」「社会全体」において、男女とも男性が優遇されていると思っている人の割合が、平等であると思っている人の割合を上回っています。

家事・育児について

- 家族で家事を分担し、夫、妻のどちらか一方に負担がかかるのを防ぎたい。
- 男性と女性で子どもに教えられるものはそれぞれ違うので、育児は夫婦で協力すべきだと思う。
- 育児休暇は女性の方が取りやすいイメージがあるので、育児は女性が中心となっており、男性は時間がある時に協力すればいいと思う。
- 子どもが成長するまでは子どものそばにいたい。

お任せでいいの？
支え合ってこそ、いい人生。



理想の働き方について

- 結婚しても、子どもを産んでも仕事は続けたい。
- 私は理系で、目指す職業は男性が多いけど、性別関係なくがんばりたい。
- どちらかが仕事に出て稼ぎ、どちらかが家に入るのが理想。
- 仕事もバリバリしたいけど、家庭に入って夫を支える生活にも憧れる。

働き方っていろいろあるよね。



男女共同参画について

- 自分らしく生きるとは、周りの協力と理解があって初めてできることだと思う。
- 性別による役割分担は、両親や祖父母の姿を見て当たり前と思っていたけど、改めて自分の将来について考えてみたい。
- みんなそれぞれいろいろな考えを持っていることがわかった。自分に合った生き方をし、お互いの生き方を認め合っていこうと思う。
- 「相手の気持ちになって考える」何事も話し合い、お互いの意見をぶつけ合っていきたい。

自分らしく生きるって
どんなことだろう？



若者が考える「トモ活」って??

毎年6月に男女共同参画社会の実現を目指し開催する「男女共同参画のつどい2021」では、現役大学生と社会人4人によるパネルディスカッションを行いました。



男女共同参画って、どう思う？



海津 司さん
(県内大学生)

性別に関わる偏見や格差のようなものは、残っていると思います

バイトの現場で、配達や力が必要な業務は男性、気配りが必要な業務は女性と決まっていたり

自分が社会に出た時、どんなだったらいい？

入社したら、多くの経験を積み長年にわたり実践したい

だから、配偶者と協力して家事・育児を行い、産育休後に復帰して会社に貢献して定年を迎えたい



育児は、育児休暇等を取り積極的に参加したいし、家事も、仕事の忙しさや体調を考慮しながら分担したい

子どもには、男女ともに家事・育児を行うのが当たり前と
思ってほしい

今の社会について、課題に思うことは？

男女平等の面で、日本は他の先進国に遅れをとっていると言われていて、例えば、男性の育休取得率は非常に低いです

出産・育児について利用できる制度を知り、自分がどうするか考える機会を増やしていくとよいと思います



企業の採用では性差別がなくなっても、管理職や議員など女性の参画が遅れている分野がある

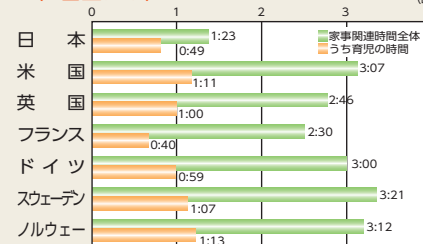
男女共同参画社会や多様性のある社会を目指す上でも、偏見をなくし、正しい知識を身につけていく必要があると感じます

Message

「男らしさ」「女らしさ」ではなく、「自分らしさ」を大切に

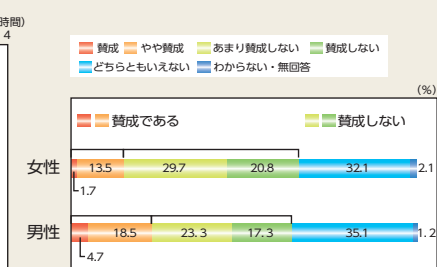
性別によらず、自分は何がしたいのか、何ができるのかを考えて行動することが大切です。また、自分が行動するのと同じように、自分以外の人の考えや選択を尊重することも大切です。

●6歳未満児のいる夫の家事・育児関連時間(1日当たり)



日本の男性が家事・育児に費やす時間は世界的に見ても低い水準にとどまっています。

●「男は仕事、女は家庭」という考え



女性、男性ともに賛成派が反対派を下回っています。